

「市民病院改革プラン」主な具体的行動計画の進捗状況（平成23年度現在）

①効率的な病院運営の推進

■DPC導入による経営改善

- ・ベンチマークによる他病院との比較
- ・入院診療内容改善に関する職員の意識向上

■TQM活動の推進

- ・外部講師を招いた研修会の実施（4月・8月）
- ・発表会の実施（2月予定）

■未収金の縮減

- ・医療庶務係、入院担当、MSWによる情報交換等の定期的実施による未収金の発生防止

■再編交付金の活用

- ・白内障手術装置等

■薬品等購入費の縮減

- ・使用頻度が少ないものや同種同効品の整理統合などによる採用品目絞り込み
- ・薬剤は上半期で67品目減少、道内公立病院で採用品目が1,200品目以下の施設は当院を含め3施設のみ

■後発医薬品の採用拡大

- ・上半期で11品目を採用、後発医薬品採用率は15.9%

■患者満足度調査の実施

- ・昨年10月に調査を行い、各部署における改善事項について取組み状況を調査・検証し、改善効果を評価
- ・今年度は11月14・15日（外来）、14・30日（入院）

②地域医療の充実に向けた基幹病院としての役割の強化

■地域医療情報の共有化

- ・地域医療機関等に対し「地域医療連携室だより」を送付
- ・地域医療機関との連携強化を目的として、「地域連携セミナー」を共催

■医療機能分担の促進

- ・「かかりつけ医」のパンフレットを外来待合に設置（循環器科・泌尿器科）
- ・循環器科医師の地域医療機関（25カ所）訪問

■退院支援の充実

- ・地域医療連携課において、地域の医療機関や福祉施設、その他専門機能を有する医療機関などをリスト化
- ・北大病院、KKR札幌医療センター、札幌社会保険総合病院と連携に関する協定を締結

■救急医療の充実

- ・「救急医療に関する方針」を平成 23 年 6 月に改訂し、体制の充実に関し明文化
- ・受け入れ手順について「救急外来運営マニュアル」を整理
- ・救急医療対策委員会において、受け入れ不能事例に関する検討を実施
- ・「災害対応指針及び災害対策マニュアル」、「消防計画」、「停電時対応マニュアル」を見直し

③医療・看護の質の向上

■職員の資質の向上

- ・認定資格の取得支援の実施
認定看護管理者教育課程ファーストレベル派遣要綱の制定

■臨床研修体制の充実

- ・臨床研修医による指導医・指導体制に関する評価の実施

■医療職人事考課制度の導入

- ・「医師人事考課実施要領（試行）」を定め、9 月に試行、10 月に評価を実施、結果を被評価者にフィードバックする
- ・1 月に 2 回目の試行を予定
- ・試行結果等を検証し、平成 24 年度中の本格運用を予定

■病院機能評価の認定更新

- ・公益財団法人日本医療機能評価機構の訪問審査を 10 月 26 日から 28 日の 3 日間にわたり受審
- ・審査結果は概ね 3 ヶ月後に通知

■クリニカルインディケーターの導入

- ・導入について 8 月の幹部会議で検討・決定し、同月の運営会議で周知

④安全で安心できる医療の推進

■患者参加型医療の推進

- ・「インフォームド・コンセントの基本方針」を「医療倫理に関する手引き」に掲載し、各部署に配布
- ・インフォームド・コンセントを得る手順については、「説明と同意書作成マニュアル」に掲載しており、7 月に改訂し、各部署に配布
- ・インフォームド・コンセントの内容を含んだ臨床倫理研修会を 10 月に実施
- ・「セカンドオピニオンに関する方針」を制定し、治療方法の選択における患者様の自己決定権の尊重を明文化

■安全な医療の推進

- ・各部署における「安全管理マニュアル」の見直しを行うとともに、勉強会を実施
- ・8 月に全職員対象の安全管理研修会を実施
- ・「院内感染対策マニュアル」を 10 月に改訂

⑤医療提供体制の確保

■医師の確保

- ・当院ホームページでの募集継続のほか、リクルート雑誌を活用した募集広告の掲載（8～11月）、医師紹介会社の活用、自衛隊医療職向け求人サイトへの募集掲載（9月～2月）
- ・大学医局への継続した働きかけ

■新たな医師住宅整備の検討

- ・民間事業者が新たに建設し、管理する医師住宅を必要戸数借上げる方式として、事業者の募集を行い、決定した。
- ・来年3月1日の入居に向け準備を進める